

高等学校DX加速化推進事業（DXハイスクール）事業趣旨

Society5.0の到来

デジタル技術が目まぐるしく発展し社会の在り方そのものがこれまでとは非連続といえるほど劇的に変わり、複雑で予測困難な定型的業務や数値的に表現可能な程度の知的業務をAIやロボットが代替

⇒ 情報技術を活用し、自身の興味・関心に基づき設定した課題の解決を通じて新たな価値を創造する人材の育成、デジタル等成長分野を支える人材の育成が求められている

そのためには、理系科目や文理横断的な学びの充実を前提として、

- ・創造的な問題解決を目指し情報や情報技術、ICT機器について深く理解し、自らの学びに取り入れること
- ・情報技術、ICT機器を活用した問題解決や探究的な学びにおいて、課題を設定し、解決策を企画することとどまらず、実行出来る形にすること が必要



- ・義務教育段階でGIGAスクール構想
- ・高等教育段階で大学・高専機能強化支援事業、数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度

などによる取組が進展

DXハイスクール採択校において、

- ・情報Ⅱ等の開設・実施
- ・ハイスペックPC、3Dプリンタ、動画・画像生成ソフト等のICT機器整備・活用
- ・大学や企業等との連携による外部専門人材・コンテンツの活用

等を実施



デジタル等成長分野の学部・学科への進学者の増・成長分野の担い手増加

(担当：初等中等教育局参事官付（高等学校担当）)